



18 春闘勝利！民主化実現に向けて！

JR連合 第30回中央委員会

JR連合は2月5日(月)、和歌山市内に於いて第30回中央委員会を開催し、2018春季生活闘争をはじめ、政策課題、組織課題など当面するJR連合の活動方針を決定した。委員会議長はJR四国労組 幸中央委員が務めた。

松岡JR連合会長は挨拶で、安全の確立、グループ全体でベアに拘った月例賃金の引き上げと働き方改革を視野に入れた18春闘、民主化闘争、政策課題について、結集する仲間の一丸となった取り組みを要請した。

18春闘方針 概要：・定期昇給の維持 ・JR各単組は月例賃金総額6,000円以上の引き上げ、その内3,000円について純ベア統一要求を行うこと。・各単組はワーク・ライフ・バランスの実現に資する要求項目を盛り込むこと。・期末手当（夏季手当、年間臨給）について、可能な限り同時要求すること。・非正規労働者に関する要求（雇用形態間格差の是正）・雇用形態間における均等・均衡待遇実現に向けた取り組み。



国井事務局長が、JREユニオンの決意を力強く発言！

「18春闘、安全安定輸送、民主化闘争、共済組織について」(要旨)

JR 東日本の第3四半期営業収益は過去最高、安全安定輸送に向けた社員の懸命な努力とお客様に選ばれた結果である。18春闘では定期昇給の完全実施と5年連続の賃金改善3,000円を堂々と要求し交渉していく。

安全について、相次いだ大規模輸送障害、自然災害に対する見通しの甘さ等、過去の教訓を生かし切れていない。社員の急激な世代交代の時期を迎え、技術継承、人材育成にさらに力を入れて行かなければならない。一人ひとりの高い安全意識と想像力が不可欠である。

革マル派浸透問題について、JR 東日本の民主化は、JR 東日本が社会的責任を果たしお客様からの信頼を得るためにも必要不可欠である。昨年末30代の青年組合員がJREユニオンに加入した。民主化支援単組の支援もあり、彼は現場で生き活きと業務に就いている。JR連合の仲間とともに民主化闘争をさらに推し進める。

交運共済については、相互扶助はもとより、活動を通じた民主化支援、運動を感じている。今後も民主化を求める仲間と共に、運動をさらに拡大して参りたい。共済活動維持のためにも支所・事業所の縮小については再考を願う。JR連合に参集する仲間と共に突き進むことを決意し発言とする。